

法人基盤強化② 中期計画推進会議

【重点事業】

東社協が将来にわたって安定して求められる役割を果たしていくために、平成27年3月の東社協経営改善検討委員会報告では、東社協の経営基盤の課題として、①複雑な財務構造と予算管理、②予算と執行実績の乖離、③不十分な執行管理と財務調整機能、④不十分な事業評価の指標を挙げ、これらを改善していくために、①財務構造を明確にする、②予算を意識した執行管理を徹底する、③局内全体のマネジメント力を高める、④組織的な経営戦略を持つ、の4点を提言しました。

この提言をふまえ、平成27年度から必要な取組みをすすめるとともに、新たな中期計画の策定にあたっては、「東社協の基本的な役割」を5つに再整理した上、それぞれの事業が共通の目標に向けた取組みを効果的に協働できることをめざしました。地域社会において、福祉ニーズは多様化・複雑化しており、複合的な課題や分野を横断する課題への対応が求められています。こうした中、幅広いネットワークを構成する東社協の事業そのものも多岐にわたっており、そのため、横断的な課題に対して時機を得た対応を図っていくことが課題となっています。特に3つの「重点目標」のもとに設定した6つの「重点事業」は、それらを実行していく上でいずれも複数の部室が所管する複数のネットワークの協働が不可欠となっています。

こうしたことから、複数の事業が協働して目標に向けた取組みができるよう、中期計画の進行管理と推進評価を担う東社協総合企画委員会のもと、局内に「中期計画推進会議」を設置します。同会議では、重点事業の着実な実行と部室ならびに全ての事業に設定した中期目標の達成に向けた取組みを推進します。併せて経営改善をすすめるべく、部室のマネジメント力を高めるため、複雑な財務構造の明確化をすすめるとともに、中期計画を着実に実行していくための自主財源の確保について検討を行っていくこととします。

1 中期事業目標（平成30年度末にめざす姿）

- 改正社会福祉法に基づく本会の経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化等を着実に実行。
- 横断的な課題に対する各事業の協働を進める上で、東社協の5つの「基本的な役割」を効果的に発揮できる事業調整機能を強化し、めざすべき地域社会の構築に向けた3つの重点目標を着実に達成する。
- 財務構造を明確にした上で強化するとともにマネジメント力を計画的に高め、将来にわたって東社協が安定した役割を果たすための組織基盤を構築する。

2 東社協の「基本的な役割」を発揮する視点

- 横断的な課題を解決していくために求められる東社協の役割を適切に果たしていくべく、関係する事業の効率的かつ効果的な協働をすすめる。
- 部室ごとに設定した中期事業目標が相互に連携して、東社協の「5つの基本的な役割」を効果的に発揮する。

3 重点目標対象事業の中期における展開方策

(1) 中期計画推進会議（組織基盤系PT・事業連携系PT）

中期事業目標	中期計画の着実な実行を推進する。また、平成28～33年度の6年間を「経営改革期」に位置づけ、その前期の3年間は各部室において事業を展開する上での充当財源を明確にし、各部室のマネジメント力を強化するとともに、新たな自主財源の確保を優先的に推進する。			
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
中期実施計画	○局内に中期計画推進会議を設置・運営 ＊組織基盤系PT 各年度に優先順位の高い3～4のテーマを設定し、組織基盤を強化する。 ＊事業連携系PT 重点事業を対象に設置し、各事業の連携による効果的な取組みを推進する。	→	→	→

◎所管部室：総務部、◎充当財源：自主財源

<事業の概況>

